

平成31年度 当初予算

市の一年間のお金の使い方をまとめた当初予算が決定しました。
 平成31年度の全会計の当初予算額は、前年度と比べて11億6,386万5千円（率にして2.1%）増の558億14万3千円となっています。
 このうち、一般会計は1,404億84万4千円、特別会計は165億2,550万1千円、企業会計は140億4,084万4千円、特別会計は9.2%減の165億2,550万1千円、企業会計は29.3%増の140億4,084万4千円となっています。
 【財政課】

各会計の当初予算額

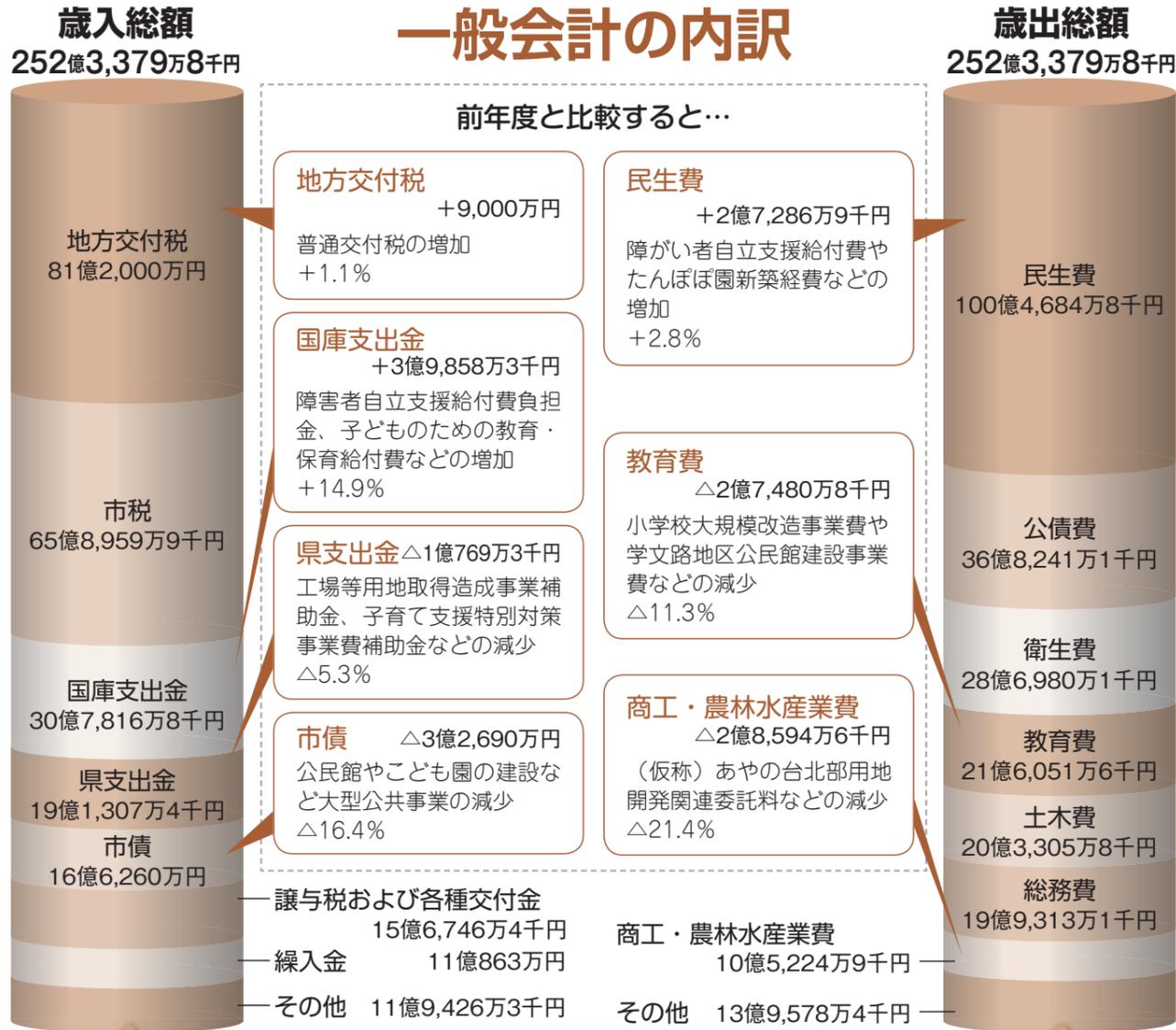
一般会計 **252億3,379万8千円**
 （対前年度比 1.4%減）

特別会計 **165億2,550万1千円**
 （対前年度比 9.2%減）

企業会計 **140億4,084万4千円**
 （対前年度比 29.3%増）

全会計 **558億14万3千円**
 （対前年度比 2.1%増）

一般会計の内訳



市民1人当たりの市税負担額 **104,638円**

市民1人当たりが受ける行政サービス額 **400,695円**



一般会計の概要

歳出

主な事業として、幼児教育無償化に伴う経費やたんぼ園の老朽化改善と定員増加を目的としたたんぼ園整備にかかる経費、学校施設の長寿命化のため、西部小学校の大規模改造やトイレ洋式化率が低い隅田・紀見東中学校のトイレ改修事業など、保育・教育環境の改善に向けた取り組みを行います。また、市内にある道路や橋、市営住宅などの施設の長寿命化を図る経費や橋本市再開発住宅を地域優良賃貸住宅として供給するための屋内改修経費など、公共施設の持続化・最適化に向けた取り組みを反映した予算編成となっています。

歳入

市税については、固定資産税の増額を見込むものの、個人市民税や法人市民税、市たばこ税の減額を見込んでいることから、ほぼ前年度並みの予算となっています。また、普通建設事業費の減少により市の借入金にあたる市債は減少し、財政健全化の取組み効果により基金繰入金は減少していますが、依然として財政事情は厳しく、財源不足に対応するため、基金からの繰入れに頼った予算編成となっています。

基金と市債残高

基金は、財政調整基金や特定事業のために積み立てた地域づくり基金などの特定目的基金を取り崩したことにより減少しています。市債は、償還が進んでおり、残高は減少しています。

